

登小だより



May号



登立小HP
文責 校長 田崎正明

笑顔 元氣 命かがやくのびっ子たち

新緑の美しさに、命の輝きを感じる季節になりました。気候も爽やかで、物事に取り組み意欲も高まります。スタートから一か月を過ぎました。のびっ子は元氣いっぱいです。教室からも、運動場からも元氣と笑顔に満ちた姿があります。先日は、のびっ子一六七人が一堂に会して、児童集会「のびっ子供会議」を開催しました。「よりよい学校生活を、すすんで、自分で、自分たちで」と、全員で考える集会活動です。会議では、各委員会の年間計画の紹介があり、その内容に、互いに質問や感想を出し合っていました。一年生が「どうして勉強をするんですか？」という質問をしました。すると「夢を叶えるためです！」と、笑顔で答えるの六年生の姿がありました。学年の枠を超え、つながる、理解しあう姿に、高い相手意識を感じました。本校が掲げる「命の輝き」であると捉えます。

教室では、二十六日(日)に実施する運動会にむけて、どの学級も動き出しました。スローガンも決まり、高学年を中心に成功させようという意欲の高まりがみられます。今年は五年ぶりに一日開催いたしました。ご家庭にはお弁当の準備と大変ご苦労をおかけしますが、子供たちにとって、運動会が豊かな体験となり全員の心に大きな思い出として残ることを願います。ご理解とともにご支援をよろしくお願いいたします。

令和6年度 運動会スローガン 一人一人が主人公!! 仲間とともに全力で走りぬく 思い出に残る運動会

- 運動会は、一人一人が**主人公**です!
- 1年生から6年生まで、みんなで**助け合い**
- 転んでも、**全力**で走りぬきましょう
- 1年生は、初めての運動会。6年生は最後の運動会です。みんなで、**思い出に残る**運動会にしましょう。



今年度は、「すすんで、自分で、自分たちで」が登立小の合言葉です。私たち教職員と子供たち全員が手を携えて進みます。それぞれが備えている主体性に培いながら豊かに学校生活をおくれるように「支える教育活動」への努力をいたします。皆様方とともに、子供たちの成長を願い、そして、成長の姿を大いに認め、ほめ、励ます、素敵な大人でありたいと考えます。



のびっ子供会議

調整する力を高める取組

誰もが、健やかな気持ちで過ごし、満足のいく人間関係の中で豊かに生活したいと願っています。幸せを感じる、幸福感を得ることの大切さです。著名な心理学者は、幸せの三要素として「①自分自身が好きかどうか、②良い人間関係を持っているかどうか、③人や社会に貢献しているかどうか」を挙げています。「自己肯定感」「自己有用感」「信頼関係」といったところでしょうか。この3つの点については、本校でも高めるための取組を進めています。そこで、今年度は少し視点を変えて、子供たちの「レジリエンス」(ストレスや困難に負けない力)に着目し、子供たち一人一人の「困難をしなやかに乗り越え回復する力」を高めていきたいと考えます。取組では「立ち直る自信、回復力」といった心の側面、「周りとの関わり方、ストレスへの対処」といった技能の側面、「ストレスに強い心と体」といった体の側面の3つからアプローチします。それぞれに「目標に向かって進む」(心)、「つながりを築く」(技)、「自己肯定感を育む」(体)を主目標に掲げています。授業で、帰りの会で、集会で、全員で、一人でと多様な方法で取組を進め、子供たちの幸福感を高めていきたいと思ひます。取組の状況について、随時お知らせいたします。



	観点	内容
心 (心理的要因) ・立ち直る自信、回復力	立ち直る自信	③事実を正しく捉え見直しをもつ ④自己発見のきっかけを探す ⑤人生には変化はつきものだを受け入れる
	夢や目標	⑥目標に向かって進む
技 (社会的要因) ・周りとの関わり方 ・ストレスへの対処	対人関係スキル	①つながりを築く
	ストレスコーピング	⑤セルフケアを教える
体 (身体的要因) ・ストレスに強い心と体	健康	③毎日の日課を守る ④ひと休みする
	自己肯定感	⑥人の役に立っているという経験をさせる ⑦自己肯定感を育む

今年度は、多岐にわたる内容の中で困みの三内容を柱に取組を進めます。

あしがき 先日、ある場所で「遊びは子どもの主食です」と題したポスターを目にしました。中には大人の子どもの関わり方が、その効果とともに、5つの視点から記してありました。どれも大切な行為であり、「なるほど」と納得できるものでした。教育活動の視点としても大事にしなければと、改めて感じた次第です。5つの視点を下記に記します。ご一読いただければ幸いです。なお、日本医師会発出のポスターでした。

- 【ポスターの概要】
- ①愛着形成「親の顔と声と手は、子どもにとって最高のおもちゃとなる」、
 - ②外遊び「五感や体力を育て、新しい発見や体験を生む機会となる」、
 - ③集団遊び「言葉や運動能力、社会性、思いやり心を育てる機会となる」、
 - ④お手伝い「親子の関わりで生活能力、自己有用感を高める機会となる」、
 - ⑤生活リズム「子どもは遊びの天才。一緒に遊ぶことで睡眠と食欲が高まる」

のびっ子の輝き

~Noboritate.es school life scene~

交通教室を実施しました。事故の未然防止、正しい自転車の乗り方、自転車の点検の3つのことを目的に行いました。交通安全協会講習指導員の方々と市危機管理情報課の方々のご指導の下、のびっ子全員が安心安全な交通行動への学びを深めました。ご協力いただいた方々への感謝の気持ちも大切にし、命を大切にする子供になることを誓いました。



のびっ子会の今年のスローガンが決まりました。先日は代表の6年生が校長室を訪れ、スローガンに込めた思いを説明してくれました。やる気満々、アイデアいっぱいの姿に、楽しい児童会活動への期待が膨らみました。

令和6年度 のびっ子スローガン

だれにでも「ありがとう」を伝え、
進んで助け合うのびっこ

こんなのびっ子になろう

- 誰にでも平等に愛し、感謝を伝えられるのびっこ
(みんな同じように、仲良くする、「ありがとう」を伝える。)
- 何か困っている人がいたら、進んで助け合えることができるのびっこ

4月24日の昼休みに各委員長とのびっこ会で話し合っていました。



初めての授業参観を行いました。進級して初めての参観日で、のびっ子も張り切って学習に取り組みました。平日にもかかわらず、多くの方々にご来校いただきました。こころより感謝申し上げます。PTA総会も実施され、本年度のPTA活動もスタートしました。

音読練習 放課後の時間を利用した音読練習の取組を始めました。毎週水曜日は地域の方々がグランドゴルフのため来校されます。その空き時間をお願いして進めている学校支援活動です。初回は4年生が練習に取り組みました。練習の成果をほめていただき、嬉しさとやる気が大きく膨らんだのびっ子たちでした。



水稲体験 5年生が社会科学習の一環で、水稲の苗植え体験を行いました。水田での米作り活動をしていない本校では、今は取り組めない貴重な体験です。品種「ぴかまる」の苗を教室で生育させて、今日の活動を行いました。小規模で疑似的ではありますが、主食である米の生産活動に触れる深い学びとなりました。収穫目指して精一杯のお世話と観察を続けてほしいと願います。



狭く、小さな水田ですがのびっ子の思いが詰まった夢の田んぼです。

